

その中で、やはりキリンといえばサッカーということで、香川選手が写っていますけども、被災地3県で1,300校ある小学校の640校でサッカー教室をやっています、約1万人の方がやっているということで、大変評判のいい活動をしています。

これを見て、私は実際、この転職というか、第2の人生を歩むに当たり、この2つをしっかりと受けとめながら進めました。

地域社会とのCSV - キリンビール仙台工場の被災 -

◇3月11日の東日本大震災により、キリンビール仙台工場は大きな被害を受けた。
◇復興支援において、地域社会とキリンが共に地域の課題解決に取り組むため、3年間で60億円を拠出することを決め、「復興応援 キリン絆プロジェクト」の活動開始。

地域社会とのCSV - キリン絆プロジェクト JFA・キリンスマイルフィールド -

【サッカーを通じて小学生の元気サポート】

JFA・キリンスマイルフィールド
KIRIN
— さあ みんなでサッカーしよう! —

震災後に、「子どもたちにサッカーを通じて笑顔になってもらいたい。」との想いで、37年間の日本サッカー協会との繋がりにより、岩手県・宮城県・福島県の3県の小学校を対象に、巡回によるサッカー教室(授業として)を開催中。

2015年1月まで、640校の小学校での開催となり約1万名が参加し、大好評。

●子供の笑顔とスポーツ

第一はやはり、将来は子供しかないなというところ。スポーツですね。子供の笑顔とスポーツ。そして、やっぱり地域社会のということでは、被災地を目の当たりにしたおかげで、これは絶対、キリンビールがシェア何%だ、アサヒビールが何%、サントリーさんが何%、こんなことをやっている場合じゃないな、と言ったら社長に怒られますけれども、そういう中で、しっかり思いが出てきたと。

●CCRC - 地方大学という重要な役割

そして、今、大学にいます。CCRCという、こういう地方創生の中の大事なポジションがあるんですけど、そういう中で、この地方大学というのがかなり大きな位置づけがあるということです。この辺は松田さんにお任せする場面です。

キーワード(CSV & 被災地支援で学んだこと)

- **こどもの笑顔&スポーツ**
日本の将来は子ども達が創る。
スポーツは心身ともに鍛える場となる。
- **地域社会への貢献**
日本全国悩みは一緒(過疎化・少子高齢化 他)
被災地だけでなく、全国が「地方創生」へ動き出す。
地方創生の中心となる大学(学校)の役割&期待大。
⇒ CCRCの可能性を探る。(ピンピン叫を全うする)

CCRCとは

Continuing Care Retirement Community
継続的な ケアを提供する 高齢者 コミュニティ

高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで、「継続的なケア」や「生活支援サービス」などを受けながら「生涯学習や社会活動」などに参加するような共同体

●日本版CCRCにおける高齢者の生活のイメージ(案)

①健康で主体的な生活の実現、②必要なケアの継続的な提供、③自立した生活ができる居住環境の提供、④責任者のサポートの下、適確性が高く安定した事業運営によるコミュニティの形成を一体的に実現。

そして、ここ、ちょっと簡単に私のきっかけという、年齢ごとの部分を見ていただければと思います。とにかく早慶戦に出たいという夢がありまして、慶應中等部に合格、これも裏口入学じゃないかと兄貴2人が言っていたものですので、常に裏口しか道がないのかなと思いつつ、それでキンビールに入ったのはいいのですが、田舎への憧れというのはこの頃からふつつつと来まして、大阪では結構勤務はきつかったんですけども、岡山の女性と結婚して、その女性がよかったわけじゃなくて、という中、何かふるさとが欲しいなと思ったんですよ。

やっぱり東京人で、下町で生まれていますけど、何か田舎が大好きだなと常々思っていて、その中で何と取手工場に行った後に、憧れの九州、やっぱり九州は1つの、文化が入ってきたのも初めかなというような歴史文化がありますので、そこへの憧れがございまして、長崎に行って、そしてやっぱりあまり好きじゃなかった東京本社の勤務が、またまた九州長崎への憧れというところにつながりました。

節目のきっかけ:経過一覧
東京在住時に「履歴書」作成開始(母親の入院付き添い時:47歳) セカンドキャリア(転職)ではなく、セカンドライフ(人生)の計画 【志(ころざし)の決定】 ⇒ スポーツを通じて将来を担う子供たちのお手伝い(狙いは学校) ※学校法人理事長と懇意の得意先社長へアプローチ開始
憧れの福岡市内にマンション購入(九州移住計画実行:48歳)
希望の九州へ再赴任(東京本社⇒福岡事務所へ自宅から通勤:50歳)
東日本大震災と同時期に、東京本社へ再赴任(福岡⇒東京 52歳)
子供の就職内定と同時に、得意先社長へ正式依頼(計画始動:56歳)
⇒ 採用内定 ⇒ 退職手続き ⇒ 現在(おまけが付き、野球部創部!)

●スポーツで子供にお手伝い

そこで、ここが一番ポイントかと思えます。要は、会社を辞めて何をしたいかなというのを50歳のとき、47歳ですか、母親が入院したときに、あまりに暇なので履歴書を書き始めました。という中で、ここで志、先ほど臼井さんからもあった志というのはすごく大事だなと思って、ここで決めたのが、スポーツを通じて将来を担う子供たちへのお手伝いということで、ここで心を決めながら、先ほど申しあげました福岡にマンションを買って移住計画を進めたと。一番大事なのは、どこに勤めるか、どこに活躍の場を求められるかというところで、しっかりと長崎で得意先社長、要は学校も含めて地域の方たちとおつき合いで、その糸口を見出しながら、毎年毎年、10年間かけてその方こういう子供たちのためにお役立ちしたい、用務員のおじさんとして勤めさせてほしいというようにお話を続けて言ったことによって、何とか採用内定しまして、何とかおまけがついて、今年、野球部が創部ということで、最高の人生を今歩んでおります。

●長崎国際大学

ということで、長崎国際大学、中身は簡単に御説明します。約2,000名の学生で、ハウステンボスから20分という、まだ15年しかたっていません。3学部4学科ということで、下に書いてあるのを読みますように、地域から愛され、地域社会に貢献できる人材育成を目指すというところですよ。



野球場もできました。アーチェリーでは永峰さんという方がオリンピック選手としてこの長崎国際大学にいるということで、スポーツにも大変力を入れ、あと、文化ということではお茶ですね、茶道教育が必須科目になっている。これもまた特徴のあるところかと思えます。

今日の一番の自慢の写真がこれでございます。これからスタートする野球部のグラウンドができましたというところでございます。

そして、魅力は、この大学だけじゃなくて、実は大変地域に貢献していることをたくさんやられているグループでございます。九州文化学園グループ、70年という歴史なんですけれども、幼稚園、高校、それから歯科衛生士から調理師、それからリハビリテーション病院から老人ホーム、ここまでのものがあるというところで、まだまだ活躍の場は、活躍って、私がお手伝いできる場はたくさんあるのかなと。

「長崎国際大学」について

ハウステンボスまで歩いて20分。
2000年に開学した新しい大学。
現在、3学部4学科を擁し約2,000名の学生が学んでいます。

長崎国際大学
Nagasaki International University

学部・学科

人間社会学部
 国際観光学科 (定員: 180名)
 社会福祉学科 (定員: 80名)

健康管理学部
 健康栄養学科 (定員: 80名)

薬学部
 薬学科 (定員: 120名)

地域から愛され、地域社会に貢献できる人材育成を目指す!

施設

薬学観望エリア
人間社会学部エリア
野球場
健康管理学部エリア

サークル活動(体育系)

体育会強化指定運動部
 ・硬式野球部(2015年創部)
 ・女子バレーボール部 ・アーチェリー部
 ・男女テニス部 ・男女ソフトテニス部
 ・ゴルフ部 ・陸上競技部 ・空手道部

体育会運動部
 ・準硬式野球部 ・男子バレーボール部
 ・男子ソフトボール部 ・男女バスケットボール部
 ・男女バドミントン部 ・サッカー部

体育会サークル
 ・バレーボール
 ・フットサル
 ・薬学野球
 ・よさこい 等

長崎国際大学
Nagasaki International University

●長崎への恩返し

こちらが何で長崎を選んだか。もちろん長崎支社長であり、九州統括本部長、これは通算、すいません、13年じゃなくて11年でした。それからやっぱり長崎、九州大好き人間ということで、特に私、瀬戸物というか、陶器が好きなので、有田とか波佐見とか伊万里が近いというのもありました。温泉も嬉野温泉があるということ。それからやはり知っている方がたくさんいましたので、長崎への御恩返し。そして、先ほど長崎熟知という言葉も書いてありますけれども、実はあまりよく、こちらのエリアはまだ未開エリアであったと。

●セカンドキャリアのポイント

先ほど言いました嫁さんとの距離。これが一番かと思います。たまに会うと、本当にお互い優しくできるといふ、多分皆さんも御経験があるんじゃないかと思います。うちの家族、2泊3日以上一緒にいると結構息が詰まってつらうございまして、イベント型家族と言われております。でも、陸続きなので、何かお互い困ったときは、嫁さんとは1時間40分でほどよい距離かなと思います。

それから、早目の準備のコツ。すいません、ちょっと長くなって。まず、やはり思いを書きとめる。書くといふところですね。よく日経新聞の私の履歴書も、対処法を書かれたらいいよというお話は皆さん御存じかと思ひます。


そして、志をまずぶらさない、揺らがさないようにと。

それから、有言実行。飲んだときはしょっちゅう言っておくということです。それから、キーマンの存在。これを探すのが結構重要なポイントかと思ひます。

そして、家族にとってはやっぱり金銭的なもの、これをしっかり納得感、そして応援していただくということが大事かなと。

学校法人 九州文化学園グループ(概要:創立70周年)

- 長崎国際大学大学院 ◇ 人間社会学研究科 ◇ 健康管理学研究科 ◇ 薬学研究科
- 長崎国際大学
 - ◇ 人間社会学部(国際観光学科・社会福祉学科)
 - ◇ 健康管理学部(健康栄養学科)
 - ◇ 薬学部(薬学科)
- 長崎短期大学
 - ◇ 食物科(調理コース・製菓コース)
 - ◇ 保育学科保育専攻(専攻科保育専攻 含む)
 - ◇ 保育学科介護福祉専攻
 - ◇ 国際コミュニケーション学科
- 九州文化学園 高等学校(衛生看護科・保育福祉科・食物調理科・普通科)
- 九州文化学園 幼稚園(認定 こども園) + 三川内保育園
- 九州文化学園 衛生士学院
- 九州文化学園 調理師専門学校
- 長崎リハビリテーション病院
- 養護老人ホーム・グリーンホーム
- 特別養護老人ホーム・パルホーム



なぜセカンドキャリア(ライフ)で長崎を選んだか

- 2001年より、約5年間長崎支社長を務める。(単身赴任で長崎熟知)
- 2009年より、約2年間九州統括本部長を務める。(九州通算13年間)
- 長崎・九州大好き人間(人柄・食べ物・温泉・陶磁器・歴史・ハウステンボス等)
- ここまで社会人として育てていただいた、長崎への恩返し。
- 佐世保地区は長崎地区とは地域性が違い、馴染み少く未開エリア。
- 嫁さんとの距離感(家にピアノ部屋があり、福岡の自宅から離れない)
⇒ スープは冷めるが、陸続きなので、車で1時間40分。程よい距離感。

●デュアルライフのすすめ

デュアルライフという言葉、今かなり有名な言葉になっていますけど、是非こういう心地よさを事前体験、要は地方と都市、両またぎ、両方軸を置いていいという、これを是非事前にやられることがいいのかなと思います。

それから、未知の世界に行くのは大変かもしれませんが、また未知の方のおつき合いができるという楽しみもみつかるといふ。そうしたら、広い中での交流ですね。地域は特にお年寄りが元気です。早く次の世代に移してあげなよと言ふんですけど、なかなか移しません。でも、それが地方の活力になっているというのを知りました。

それから、昔の仲間と再び交流ということで、お帰りがなさいと言われるこの言葉がとてもうれしゅうございました。東京の仲間もうらやましがるんですけど、なかなかそういう状況にはいられない。

早目の準備のコツ

- ノートを一冊買い、履歴書の作成(暇なとき、一人ぼっちで…)
⇒ 退職後に「日経新聞・私の履歴書」を真似て書くと良い、という薦めあり
- たまに(年2回程度)、志(履歴書)の確認 ⇒ 意志が揺らがないように
- 有言実行(家族・仲間:飲み会の席でもいつでも夢・将来を語る)
- 実現のキーマンの存在(例:得意先の社長には特に継続してアピール)
- 金銭的不安の解消(子供全員が就職し、負担減少時が実行チャンス)
⇒ 前向きな老後の生活設計(特に家族には承知・納得・応援してもらう)
- デュアルライフ(都市と地方の二重居住)の心地よさを事前体験しておく

長崎へ移って良かったこと・わかったこと

- 全く違う業界(学校)の実体験。全てが未知の世界。(人生二毛作)
- 若者との交流(大学・短大・高校・幼稚園・野球部・他)
- 地域との交流(70歳前後の高齢者?の元気さ&存在感抜群)
- 昔の仲間と再び交流(「おかえりなさい!」という歓迎の言葉に喜び)
- 東京の仲間も移住の想いがあるも、なかなか実行できない事情を知る。
- 長崎・九州は観光資源満載で、どの県も特徴あり魅力的。(自慢話)
- 車社会(移動手段が車しかなく免許は必須:行動範囲の広がり)

●人生二毛作

長崎、九州は本当に自慢話ができることが多いので、余計魅力を発信できると。あと、これが一番大事かもしれません。車社会です。車がないと何もできません。ですから、こういう移住を考えるときは、遅くても免許を取ったほうがいいかなと思います。最後に、まず生活する土地を大好きになる。金銭的不安をなくす。お手伝い、お役立ちに徹することを喜びとする。そして、自分の地位や名誉を望まず、立ち位置を明確にする。常に社会地域の一員であることを自覚する。最後の「こんなはずではなかった!」と絶対に言わない。これは元オックスの田口さんが言っている言葉で、この間お会いして聞いたんです。彼はやはり御夫婦でお互いに言わないという約束をされたということです。あとはやはり感謝ですね。自分の人生は自分でつくるといことです。これこそ最後かなというところですが、1粒で2度おいしい人生を皆さん是非チャレンジしていただければと。グリコのキャラメルは、おまけ(わくわく楽しいこと)がプラスでついてきますということですが、これで終わろうとしたら、グリコの社員じゃないのと思われるので、もう1枚つけなさいということで、最後、こちらをつけさせていただきました。ということで、将来を担う子供たちの絶対にお役に立てるように、これからも活動して、キリンと長崎国際大学としっかり活動して、二毛作をこれからも続けていただければと。乾杯したいなと思います。

御清聴ありがとうございました。

まとめ(同世代へのメッセージ)

- まず、生活する土地を大好きになることが一番
- 退職後、金銭的不安を無くす早期生活設計
- 「お手伝い・お役立ち」に徹することを喜びとする
- 自分の地位や名誉を望まず、立ち位置を明確に
- 常に社会・地域の一員であることを自覚すること
- 「こんなはずではなかった!」と絶対に言わない
- 家族・仲間へ感謝。全ての周囲の環境に感謝!

自分の人生、自分で創る!

人生二毛作

♪~ 1粒で2度おいしい人生 ~♪

それだけでなく、グリコのキャラメルは
おまけ(ワクワク楽しいこと)
がプラスでついてきます!

